



二六  
九  
七  
七  
七  
二

同  
書  
印

門 二 16  
號 2281  
卷 2

特

度爾格



同  
書  
印



馬加撒爾

度爾格ハ天竺より西北よあはれる國といふ事あり倫  
 勇強ふして武と好むる國なり鄰國是が事あり  
 きり多し

樂レ采ト



馬ま加か撒さ爾にハハ呂ろ宋そうの南なん小せうあある島しまトトシシテテ一一女にょ民みんハハ  
物もの賤せん一一南なん北きた乃の兩りゆう極ごく星せい狐こ足あし赤せき巾きん一一蘇そ門もん答た刺し門もん小せう  
同どう一一

亞費利加



樂朵ハ蘇門答刺ノ近ニ鴻國也熱國ノ風俗紅  
毛ヲ似ク又別也尤勇悍を好ビ

加拂里



亞費利加あひりかの利未亞るいあ乃内のうちにあり大豊たいほうなり  
くも暖ぬく國くになり一年いちねんの間寒さむ氣き少すくく米こめ豊ほう肥ひ饒じょうなり  
國くにあり

為匿亞



為匿亞利赤亞内大國の熱國也武勇と事し風俗は海

加拂里ハ利赤亞の内より大熱國ハ大國也風俗賤く下民  
 甚黒く剛強なり死と怒る事と事と事と思直りて他人ハ奴僕と  
 能く人ハ忠信を事し此故に歐羅巴ハ此國此國の人を嘗て  
 奴僕とす此國の本國ハ莫訥本太波亞といふ



比里太尼亞



比里太尼亞ハ利未亞の内ノ歐羅巴ノ南方地中海  
ノ大國也最大國ノ四季正ニ大國ナリト云

莫斯哥米亞





工答里亞



莫斯奇米亞ハ歐羅巴の内阿蒙陀國乃  
 大國トシテ大寒國也異類の獸畜多ク水土也石火矢  
 此國の根を以て北極地と云ふ事五十度或ハ六十度の間也  
 此

大泥亞



工谷里亞ハ莫斯奇米亞ヨ希テラ爾トク  
カ大國トク寒國也石火矢ハ此國ト莫斯奇米亞ト  
始トククニ此國ノ馬ハ皆驢駝ナリ

大泥亞ハ歐羅巴ノ内ニシテ波羅ニア北東ノ  
 方リ最大ノ國ニシテ南北ニ長ク南ハ地中海ニ近ク北ハ極  
 色ニ近クシテ夏ノ節夜ニ短ク冬ノ節夜ニ長ク  
 冬ノ節ハ夜甚ク長ク晝甚ク短ク海魚々々ニ多ク山林獸類  
 諸國ヨリ多クハ五穀寶貨豊饒ナリテ天又曆象ノ測  
 器此國公最ニ一トシテ一ノ國傳ニ

翁加里亞



翁加里亞ハウノンカフニシテ此國ハ波羅ニア  
 物々ハ豊饒ニシテ牛羊蹄ニ繁殖ニシテ一ノ具

仁て

波羅尼亞



波羅尼亞ハ歐羅巴の内ノ阿崇陀國ノ東ニ寒國  
 あり此國ノ人禮義仁和ノ風俗トテ國中絶て盜賊  
 あり平生盜賊あり来と去り以國王ト大臣ト  
 ノ國法を守て少く愛とる来ありとて又此國ノ東  
 天山ノ西ノ境ニ當り如德亞トテ國あり六千年以  
 前聖人存く國法を立り其記録分りて失人  
 来たりして國王大臣其記録と守り國政を執  
 過来ありとて最此等ノ國豊饒ノ土地ありとて

意太里亞



意太里亞 以西把尼亞此二國歐羅巴の國とて大國なり  
四季ありて人々意太里亞の都と羅馬とより二國あり  
いはれり邪法國也と傳へ

齊爾瑪尼亞



齊爾瑪尼亞ハ阿蘭陀ノ國ニ至ル國ニ寒國ノ之類  
ナリ人物風俗阿蘭陀ノ相類ト

拂郎察



拂郎察ハ阿蘭陀國ノ近ニ武勇軍は長シク  
 是ノ併ラシ屬國トナルモノ多ク歐羅巴ニ於テ乃  
 大國トシ富饒ノ由也最寒國也 此國の國北極地  
 を出スルヲ五十餘度



阿  
蘭  
陀





阿蘭陀ハ歐羅巴北海の地より西へ南へ西  
 鄰拂郎察の北より相界ぬ國なり其寒國と南北  
 相距ふより三度此小國なり日本唐土の西北に當て  
 日本より海上一萬二千里あり北に地と出る事  
 五十四五度或五十六度

諸厄利亞  
インギリア



諸厄利亞の阿索陀國乃西海の島國也。心は不圓  
 しく凡俗阿索陀人より似く其種は異なり。歐羅巴  
 屬と

撒兒木



撒兒木の略してごとくも此國は西天の  
 最寒國也國人武勇なりて獸類を多し

阿勒戀



阿勒戀の南亞墨利加の内乃大國にて其人武勇  
好り此國は世界第一乃大河ありてひろく日本の  
穀十里小相ありて之り熱國にて日本より東南  
よりあり阿乃字略して勒戀と云

加拿林



加拿林ハ亞墨利加の内ふわり大國也四季有といふ  
 暖氣此國より賤き風俗なり或ハ加納連といふ

亞瓦的革



亞瓦的革馬瓦的革といふ南亞墨利加の内より四季  
 暖國なり人物勇強なりといふ淡婆好草ハ此國より

伯刺西爾



伯刺西爾の南亞墨利加の東をふ在る熱國なり  
 人倫の作法はあつては奸勇あつてノノ殺し多し合ふ  
 今代ハ諸國の人往來し交易する事多き故に  
 かく人倫の作法を知りて人を合ふ事ありといふ



長人 チヤウジン

小人 コウジン

小人の波智亞といふ國也歐羅巴東北の隅邊北の方冰海ありて  
 是は地也大寒國とて半年晝の續く  
 一年の夜の續くといふ唐土の短人  
 人の長一尺二寸とて他はむかし實に三尺有餘也といふ唐土の短人





長人ハ智加と云ふ國也南亞墨利加の内より此國に相並  
 して巴老温と云ふ國も人間長丈なりと云ふ凡其長此方ハ一丈  
 二尺と云ふつとも日本に異の方ハあり 風俗ハ  
 勇強にして天を好むと云ふ其長丈六七八と云ふ

右四十二國人物畫圖ハ當時蠻人紅毛等交易往來ノ  
 諸國人物ヲ以テ彼國ノ畫工ノ圖ニ寫シテ長崎畫師ノ  
 圖畫セシヨリ世ニ弘ミル事ト成又此人物ノ外猶又奇異  
 ノ國多シト云凡蠻人紅毛ノ往來無シテ未タ其傳不分明  
 者素除之其始四十國トス後人增加エテ四十二トス故以四十  
 二名之者也圖考ハ長崎古老ノ談說ヲ以テ撰述焉

享保五年庚子孟春穀旦

東武江都  
 劍梅軒藏板





